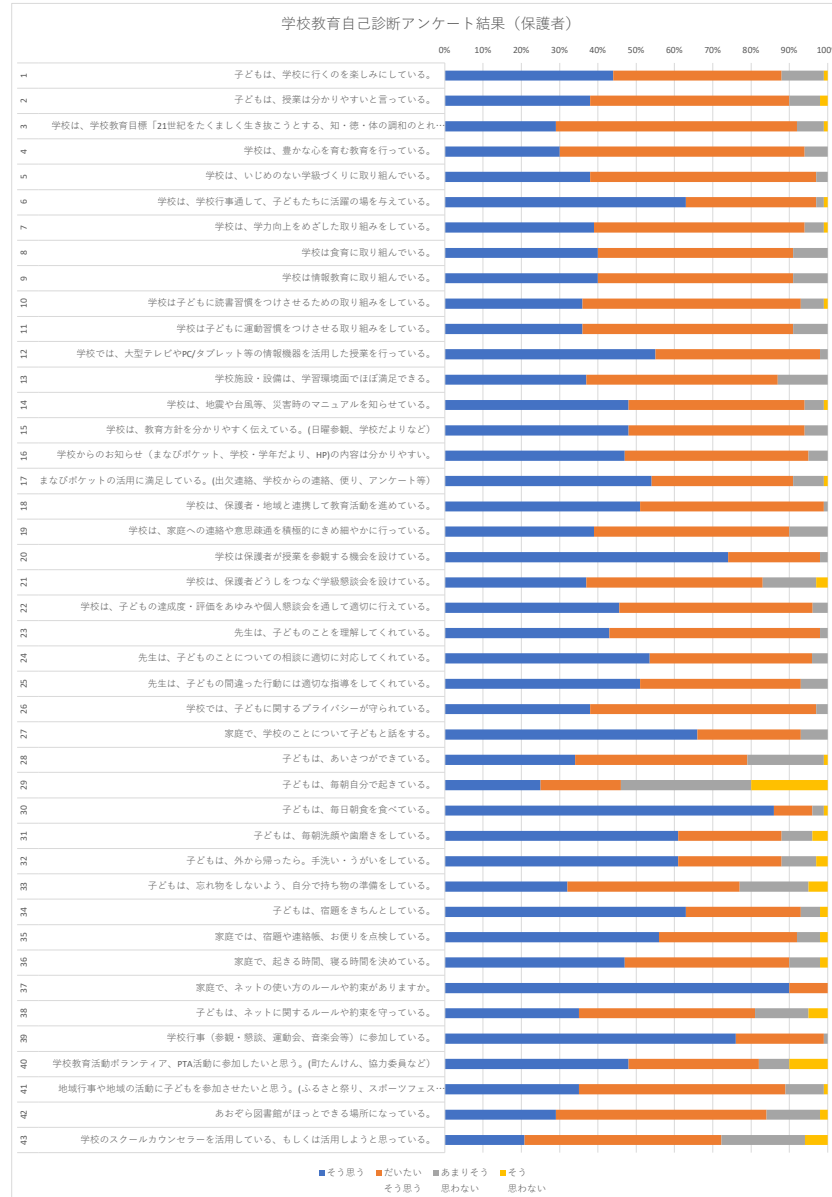


令和7年度 学校教育自己診断アンケート結果（保護者）

東奈良小学校

	そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
1 子どもは、学校に行くのを楽しみにしている。	44%	44%	11%	1%
2 子どもは、授業は分かりやすいと言っている。	38%	52%	8%	2%
3 学校は、学校教育目標「21世紀をたくましく生き抜こうとする、知・徳・体の調和のとれた子どもを育てる」を達成している。	29%	63%	7%	1%
4 学校は、豊かな心を育む教育を行っている。	30%	64%	6%	0%
5 学校は、いじめのない学級づくりに取り組んでいる。	38%	59%	3%	0%
6 学校は、学校行事通して、子どもたちに活躍の場を与えている。	63%	34%	2%	1%
7 学校は、学力向上をめざした取り組みをしている。	39%	55%	5%	1%
8 学校は食育に取り組んでいる。	40%	51%	9%	0%
9 学校は情報教育に取り組んでいる。	40%	51%	9%	0%
10 学校は子どもに読書習慣をつけさせるための取り組みをしている。	36%	57%	6%	1%
11 学校は子どもに運動習慣をつけさせる取り組みをしている。	36%	55%	9%	0%
12 学校では、大型テレビやPC/タブレット等の情報機器を活用した授業を行っている。	55%	43%	2%	0%
13 学校施設・設備は、学習環境面でほぼ満足できる。	37%	50%	13%	0%
14 学校は、地震や台風等、災害時のマニュアルを知らせている。	48%	46%	5%	1%
15 学校は、教育方針を分かりやすく伝えている。（日曜参観、学校だよりなど）	48%	46%	6%	0%
16 学校からのお知らせ（まなびポケット、学校・学年だより、HP）の内容は分かりやすい。	47%	48%	5%	0%
17 まなびポケットの活用に満足している。（出欠連絡、学校からの連絡、便り、アンケート等）	54%	37%	8%	1%
18 学校は、保護者・地域と連携して教育活動を進めている。	51%	48%	1%	0%
19 学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的にきめ細やかに行っている。	39%	51%	10%	0%
20 学校は保護者が授業を参観する機会を設けている。	74%	24%	2%	0%
21 学校は、保護者どうしをつなぐ学級懇談会を設けている。	37%	46%	14%	3%
22 学校は、子どもの達成度・評価をあゆみや個人懇談会を通して適切に行っている。	46%	51%	4%	0%
23 先生は、子どものことを理解してくれている。	43%	55%	2%	0%
24 先生は、子どものことについての相談に適切に対応してくれている。	53%	42%	4%	0%
25 先生は、子どもの間違っただ行動には適切な指導してくれている。	51%	42%	7%	0%
26 学校では、子どもに関するプライバシーが守られている。	38%	59%	3%	0%
27 家庭で、学校のことについて子どもと話をしている。	66%	27%	7%	0%
28 子どもは、あいさつができています。	34%	45%	20%	1%
29 子どもは、毎朝自分で起きている。	25%	21%	34%	20%
30 子どもは、毎日朝食を食べている。	86%	10%	3%	1%
31 子どもは、毎朝洗顔や歯磨きをしている。	61%	27%	8%	4%
32 子どもは、外から帰ったら、手洗い・うがいをしている。	61%	27%	9%	3%
33 子どもは、忘れ物をしないよう、自分で持ち物の準備をしている。	32%	45%	18%	5%
34 子どもは、宿題をきちんとしている。	63%	30%	5%	2%
35 家庭では、宿題や連絡帳、お便りを点検している。	56%	36%	6%	2%
36 家庭で、起きる時間、寝る時間を決めている。	47%	43%	8%	2%
37 家庭で、ネットの使い方のルールや約束がありますか。	90%	10%	0%	0%
38 子どもは、ネットに関するルールや約束を守っている。	35%	46%	14%	5%
39 学校行事（参観・懇談、運動会、音楽会等）に参加している。	76%	23%	1%	0%
40 学校教育活動ボランティア、PTA活動に参加したいと思う。（町たんけん、協力委員など）	48%	34%	8%	10%
41 地域行事や地域の活動に子どもを参加させたいと思う。（ふるさと祭り、スポーツフェスティバル等）	35%	54%	10%	1%
42 あおぞら図書館がほっとできる場所になっている。	29%	55%	14%	2%
43 学校のスクールカウンセラーを活用している、もしくは活用しようと思っている。	21%	52%	22%	6%



令和7年度 学校教育自己診断アンケート結果について（分析と考察）

保護者のみなさまには、2学期末のご多用な時期に、「学校教育自己診断アンケート」にご協力いただきましてありがとうございました。378名の児童数（家庭数294）に対し、167家庭分の回答をいただきました。結果は別紙をご参照ください。

お子さまにとって学校が、わくわくドキドキして楽しく主体的に一生懸命がんばれる場、仲間とつながれる場、安心安全な場であるように、保護者のみなさまの回答結果を踏まえ、教職員の力を高め、よりよい学校づくり、学級づくり、授業づくりに努めてまいりたいと考えております。

令和7年度は43項目について質問させていただきました。

「そう思う」「だいたいそう思う」の肯定的な回答95%以上のものと「あまりそう思わない」「そう思わない」の17%以上のものに注目しました。

5番の「いじめ」については、昨年度91%、今年度97%と高く評価いただいています。毎日の学校生活の中で子どもたちは切磋琢磨し、社会性を身につけ、人間関係づくりを学んでいきます。質問項目23番、24番、25番の結果の通り、教師が子どもたちの悩みや課題、相談に真摯に向き合い、誠意をもって指導を行っていることに95%以上の保護者のみなさまのご理解をいただいていることが分かりました。引き続き、子どもたちが安心して生活できる学級、学校づくりのため、励んでまいります。

21番の「学級懇談会」の機会については、1学期・2学期初めの4月と9月に設定させていただきましたが、9月は参観日と懇談会が別日であったことで、参加が難しかったとのご意見もいただいております。毎日過ごすクラスメイトの保護者様同士がざっくばらんに話ができ、つながれる環境を作っていくことも学校の使命と考えております。各学年等で学習ボランティアなどの呼びかけ等があった際には、お時間の許す限りご参加いただけましたら保護者様同士がつながれる機会ともなり得るかと思えます。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

26番の「あいさつ」については、朝1番の家族へのあいさつ、集団登校時の地域の方々

へのあいさつ、学校に着いたら先生方にあいさつをきちんとできる子どもに育ててまいりましょう。元気の源は30番「朝食」ですから、バランスのとれた朝食をお願いいたします。今年度は12月に南保健センターの方々が5・6年生に向けて「健康な体をつくるために」栄養のバランスのとれた食事について出前授業をしてくださいました。5大栄養素で午前中の活動を支える話を真剣に聞き、朝ごはんをちゃんと食べないといけないと実感していました。

29番「自分で起きる」については、54%が保護者のみなさまの力を借りて、起きていることが分かりました。夜更かしで朝が起きられず、朝ごはんが食べれない(4%)児童もいるようです。朝から元気よく活動できるよう、家族で声かけをお願いいたします。

33番「自分で持ち物準備」については、基本的な時間割等は自分で、特別な持ち物についてはお便りや連絡帳等でご確認いただきますようよろしくをお願いいたします。

37番「ネットの使い方のルール」については、100%のご家庭でルールがあるとの回答をいただきました。6月の日曜参観においても「ネットとの付き合い方」の話をお子様と一緒に聞いていただいたこともあり、各ご家庭で意識していただけた結果と考えます。一方、38番「ネットに関するルールや約束を守っているか」については、2割弱が守れていないと回答されました。ネット時間と学習時間、健康との関係についても気になるころではありますので、ご家庭で今一度お子様と向き合い、守れるルール作りをご検討ください。

43番「スクールカウンセラーの活用」については、昨年度より肯定的な回答が増えており、一定の成果を感じています。昨年度からスクールカウンセラーが2名体制となっており、月2~3回、9時半から面談可能となっておりますのでご活用ください。子どもたちの面談についても随時行っております。心配なこと、相談したいことがあっても、だれに話したらいいか迷う時、スクールカウンセラーも相談相手の一人に加えてもらえたらと思います。

12番「情報機器」を用いた授業、タブレットを活用した授業への評価もいただいております。小学校では、ノートに書くことも大切にしながら、「情報機器」も活用してまいります。ご家庭での充電等ご協力いただきますよう、よろしくをお願いいたします。

今年度から「まなびポケット」を活用してのお便り配布、出欠連絡が始まりました。保護者の方々へ配信させていただくお便りの内容も精選し、見やすい形にブラッシュアップしてまいります。

20番、39番では「参観や学校行事」にほとんどの保護者のみなさまが参加されていること、27番、35番でご家庭でお子様と学校の話をしてくださり、宿題や連絡帳やお便りをみてくださっていること、36番で起きる時刻、寝る時刻を決めてくださっていることを改め

て認識させていただきました。ご家庭の安定した支えのもと、子どもたちが安心して生活できていることが良く分かりました。

40 番 「学校教育ボランティアや PTA 活動」への肯定的回答 82%と昨年度から大幅に増加しており、子どもたちのために協力できるところはしていこうという、温かいお気持ちが伝わってきました。地域との連携しながら、地域とともに子どもたちを支え育て、保護者の方々もお子様と一緒に地域行事に楽しく参加していただける機会を作っていきたいと考えております。

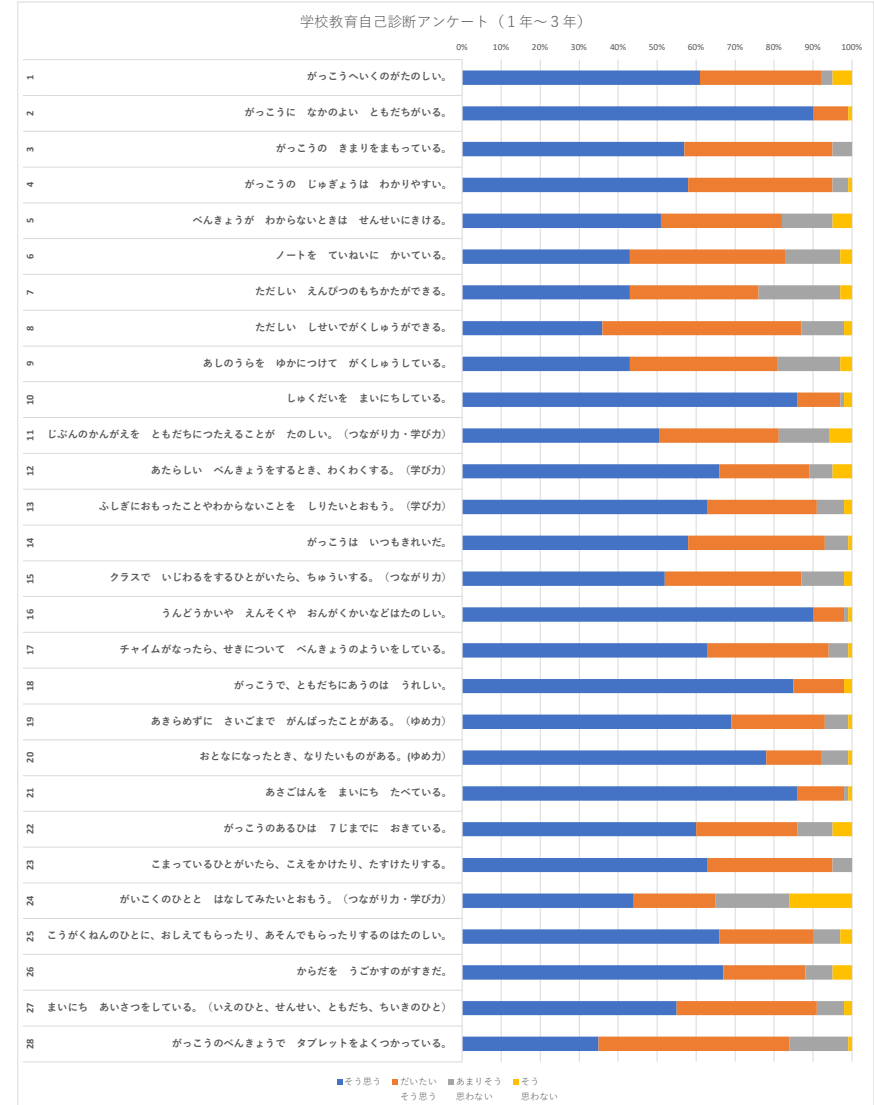
東奈良小学校は、これからも東奈良小学校区の地域諸団体の方々と PTA 保護者のみなさまと連携しながら、教職員一同、子どもたちの命を守る、心と体を育てる教育のため鋭意努力をしてまいります。ご理解とご協力のほど、よろしく願いいたします。

なお、学校教育方針や学校教育目標や「地震や台風等、災害時の対応マニュアル」、「家庭学習・生活習慣の手引き」につきましては、お便りやホームページに掲載しておりますのでご覧いただきますよう、よろしく願いいたします。

令和7年度 学校教育自己診断アンケート結果（1年～3年）

	そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
1	がっこうへいくのがたのしい。	61%	31%	3%	5%
2	がっこうに なかのよい ともだちがいる。	90%	9%	0%	1%
3	がっこうの きまりをまもっている。	57%	38%	5%	0%
4	がっこうの じゅぎょうは わかりやすい。	58%	37%	4%	1%
5	べんぎょうが わからないときは せんせいにきける。	51%	31%	13%	5%
6	ノートを ていねいに かいている。	43%	40%	14%	3%
7	ただし えんぴつのもちかたができる。	43%	33%	21%	3%
8	ただし しせいでかくしゅうができる。	36%	51%	11%	2%
9	あしのうらを ゆかにつけて かくしゅうしている。	43%	38%	16%	3%
10	しゅくだいを まいにちしている。	86%	11%	1%	2%
11	じぶんのかんがえを ともだちにつたえることが たのしい。（つながり力・学び力）	51%	31%	13%	6%
12	あたらしい べんぎょうをするとき、わくわくする。（学び力）	66%	23%	6%	5%
13	ふしぎにおもったことやわからないことを しりたいとおもう。（学び力）	63%	28%	7%	2%
14	がっこうは いつもきれいだ。	58%	35%	6%	1%
15	クラスで いじわるをするひとがいたら、ちゅういする。（つながり力）	52%	35%	11%	2%
16	うんどうかいや えんそくや おんがくかいなどはたのしい。	90%	8%	1%	1%
17	チャイムがなったら、せきについて べんぎょうのよういをしている。	63%	31%	5%	1%
18	がっこうで、ともだちにあうのは うれしい。	85%	13%	0%	2%
19	あきらめずに さいごまで がんばったことがある。（ゆめ力）	69%	24%	6%	1%
20	おとなになったとき、なりたひものがある。（ゆめ力）	78%	14%	7%	1%
21	あさごはんを まいにち たべている。	86%	12%	1%	1%
22	がっこうのあるひは 7じまでに おきている。	60%	26%	9%	5%
23	こまっているひとがいたら、こえをかけたり、たすけたりする。	63%	32%	5%	0%
24	がいこくのと はなしてみたいとおもう。（つながり力・学び力）	44%	21%	19%	16%
25	こうがねんのひとに、おしえてもらったり、あそんでもらったりするのはたのしい。	66%	24%	7%	3%
26	からだを うごかすのがすきだ。	67%	21%	7%	5%
27	まいにち あいさつをしている。（いえのひと、せんせい、ともだち、ちいきのひと）	55%	36%	7%	2%
28	がっこうのべんぎょうで タブレットをよくつかっている。	35%	49%	15%	1%

東奈良小学校



令和7年度 学校教育自己診断アンケート結果（1～3年）について（分析と考察）

1～3年在籍児童190名中176名の回答を得ました。

「そう思う」「だいたいそう思う」の割合が90%を超えた項目は、28問中15問あり、概ね学校生活を肯定的に受け止めている結果を示しています。

「1番 学校へ行くのが楽しい」「2番 仲の良い友だちがいる」「3番 きまりを守る」「4番 授業が分かりやすい」「10番 宿題をする」「17番 チャイム着席」「27番 あいさつ」について、90%を超えていることから、安心して子どもたちは登校しており、決まりを守って友だちと関わり、学習に前向きに取り組んでいることが分かります。

「5番 分からない時、先生に聞ける」「6番 ノートをしていねいに書いている」では、子どもたちが困っていることを教師が気づき、その場で解決できるよう配慮ある授業を行うことやていねいに書くことの良さが伝わるようなきめ細やかな指導と意欲があがる声かけを心掛けていく必要を感じました。

「7番 鉛筆の持ち方 8番 姿勢 9番 足の位置」については、学習に向かう姿勢の第一歩であり、低学年の間に自然体で学習姿勢を整えることが得策です。姿勢を整えることの良さ（利点）について親も子どもも理解し、子どもたちが自分自身の体の健康（背骨・目・体感）のために努力できるよう、学習環境づくりと日々励ましをお願いします。

「11番 考えを伝えたい 12番 わくわくする 13番 ふしぎに思うことを知りたい」については学習意欲に関わる質問であり、子どもたちが能動的に活動できるよう授業の工夫が必要であると感じます。子どもたちが「なるほど!」「そうか、分かった!」「もっと知りたい!」「こうしたらいいのでは?」など、達成感を味わえる瞬間を学校生活の1日の中で何回も重ねていけるよう、教職員も努力していきたいと思います。

「15番 いじめ」については、クラスの中で間違った行為が行われた時、正しい意見が言えるかどうか、安心して自分の意見が言えて受け入れてもらえる環境かどうか重要です。だれもが居心地のよいクラス、仲間・集団を作っていけるよう、担任だけでなく全教職員で協力して安心安全な学校を作っていきたいと思います。

「24番 外国の人との関わり」についての結果を踏まえ、積極的に他者と関わりを持ち、広い視野を持ち、行動できる人に育つよう、人権教育を進めてまいります。

「16番 学校行事がたのしい」「18番 友だちにあうのがうれしい」「19番 最後まであきらめずにがんばった」「20番 大人になったらなりたいものがある」「23番 困っている人を助ける」「25番 高学年との関わり」について、前向きに物事を捉え、これからがんばって生きようとする気力が伺えます。子どもたちがもともと持っている「生きる力」を引き出し、未来へとつなげていけるよう、学校と家庭と地域が連携して子どもたちを豊かに育てていきたいと思います。

「26番」については、体育の授業の中で体を動かすことの気持ちよさ、技を習得した時の達成感を味わう機会を増やしていくこと。加えて、休み時間などにも友だちと楽しく体を動かし、子どもたちの「やりたい・遊びたい・楽しみたい・できた!」を増やしてまいります。

上記の質問項目以外に、お子様の様子で分からないこと、不安なことなどがありましたら、担任までおしらせください。また、本校に月2回、スクールカウンセラーが来校していますので、そちらもご利用く

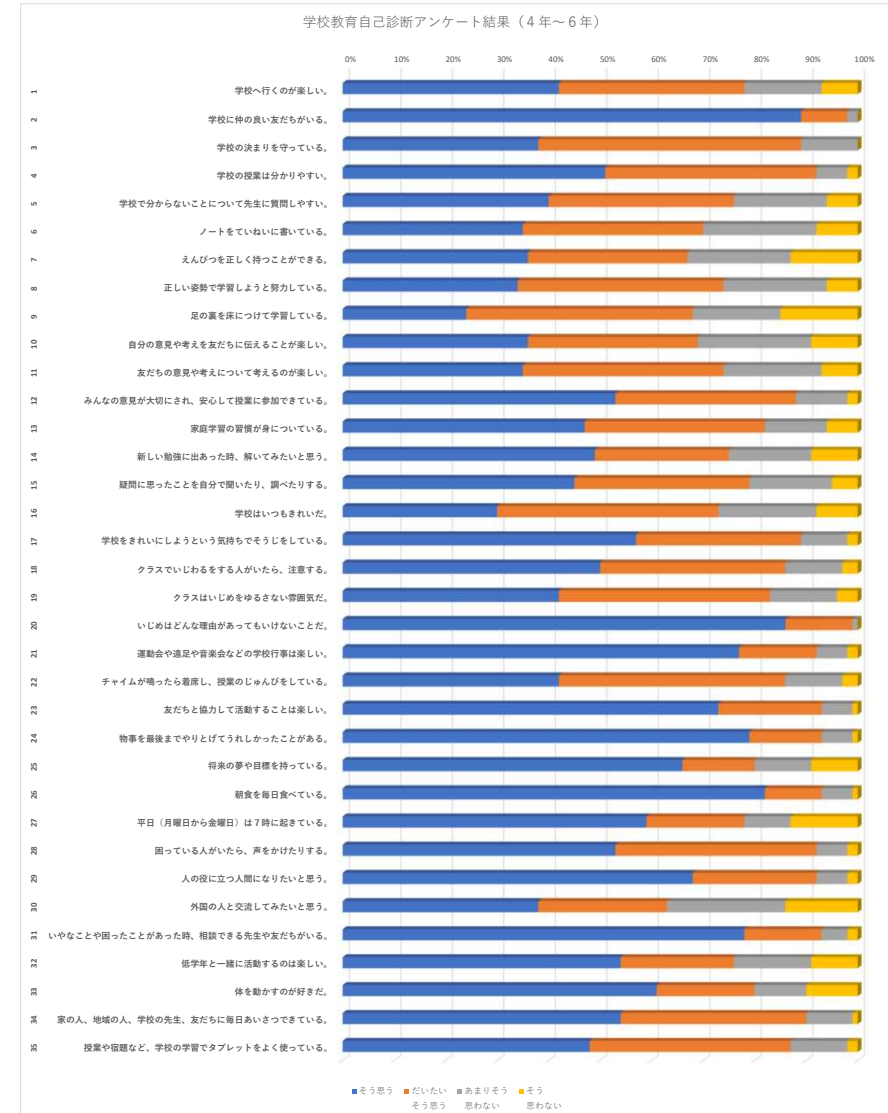
ださい。スクールカウンセラーの日程調整については学校までご連絡ください。

今後とも本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします、

令和7年度 学校教育自己診断アンケート結果（4年～6年）

東奈良小学校

	そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
1 学校へ行くのが楽しい。	42%	36%	15%	7%
2 学校に仲の良い友だちがいる。	89%	9%	2%	0%
3 学校の決まりを守っている。	38%	51%	11%	0%
4 学校の授業は分かりやすい。	51%	41%	6%	2%
5 学校で分からないことについて先生に質問しやすい。	40%	36%	18%	6%
6 ノートを書いていねいに書いている。	35%	35%	22%	8%
7 えんぴつを正しく持つことができる。	36%	31%	20%	13%
8 正しい姿勢で学習しようと努力している。	34%	40%	20%	6%
9 足の裏を床につけて学習している。	24%	44%	17%	15%
10 自分の意見や考えを友だちに伝えることが楽しい。	36%	33%	22%	9%
11 友だちの意見や考えについて考えるのが楽しい。	35%	39%	19%	7%
12 みんなの意見が大切にされ、安心して授業に参加できている。	53%	35%	10%	2%
13 家庭学習の習慣が身についている。	47%	35%	12%	6%
14 新しい勉強に出あった時、解いてみたいと思う。	49%	26%	16%	9%
15 疑問に思ったことを自分で聞いたり、調べたりする。	45%	34%	16%	5%
16 学校はいつもきれいだ。	30%	43%	19%	8%
17 学校をきれいにしようという気持ちでそうじをしている。	57%	32%	9%	2%
18 クラスでいじわるをする人がいたら、注意する。	50%	36%	11%	3%
19 クラスははじめをゆるさない雰囲気だ。	42%	41%	13%	4%
20 いじめはどんな理由があってもいけないことだ。	86%	13%	1%	0%
21 運動会や遠足や音楽会などの学校行事は楽しい。	77%	15%	6%	2%
22 チャイムが鳴ったら着席し、授業のじゅんぴをしている。	42%	44%	11%	3%
23 友だちと協力して活動することは楽しい。	73%	20%	6%	1%
24 物事を最後までやりとげてうれしかったことがある。	79%	14%	6%	1%
25 将来の夢や目標を持っている。	66%	14%	11%	9%
26 朝食を毎日食べている。	82%	11%	6%	1%
27 平日（月曜日から金曜日）は7時に起きている。	59%	19%	9%	13%
28 困っている人がいたら、声をかけたりする。	53%	39%	6%	2%
29 人の役に立つ人間になりたいと思う。	68%	24%	6%	2%
30 外国の人と交流してみたいと思う。	38%	25%	23%	14%
31 いやなことや困ったことがあった時、相談できる先生や友だちがいる。	78%	15%	5%	2%
32 低学年と一緒に活動するのは楽しい。	54%	22%	15%	9%
33 体を動かすのが好きだ。	61%	19%	10%	10%
34 家の人、地域の人、学校の先生、友だちに毎日あいさつできている。	54%	36%	9%	1%
35 授業や宿題など、学校の学習でタブレットをよく使っている。	48%	39%	11%	2%



令和7年度 学校教育自己診断アンケート結果（4~6年）について（分析と考察）

4~6年在籍児童188名中177名の回答を得ました。

「そう思う」「だいたいそう思う」の回答が90%を超えている項目と「あまりそう思わない」「そう思わない」の回答が20%を超えている項目に色をつけています。

「そう思う」「だいたいそう思う」の肯定的回答が35問中11問であるのに対し、「あまりそう思わない」「そう思わない」が20%以上の項目が15問であったことを受け止め、今後の学校教育活動に活かしていく所存です。

「2番 仲の良い友だちがいる 98%」、「20番 いじめはどんな理由があってもいけないことだ 99%」と回答していることから、日々の教育活動が生かされ、安心できる学校であると受け止めたいと思います。ただし、「1番 学校へ行くのが楽しい 78%」であることにつながっていないことに注目し、今後の学級・学年経営に活かしていきたいと考えます。

「4番 授業は分かりやすい 92%」と「5番 分からないことについて先生に質問しやすい 76%」が相反する数値を示していることから、教師は児童の様子に留意しながら授業を行っていくよう努力してまいります。

「6番 ノート指導 7番 えんぴつの持ち方 8番 姿勢 9番 足の位置」については、学習に向かう姿勢の第一歩を自分のためにいかに自然体で取り組めるかを問うています。心も体も急速に成長する時期だからこそ、学習環境を整える利点を頭で理解し、長時間学習に集中できるよう、力が入りすぎないえんぴつの持ち方を今一度見直し、背筋を伸ばし、体を安定させた状態で取り組んでもらいたいと思います。

「10番 自分の考えを伝える 11番 友だちの考えの受容 14番 解いてみたいという学習意欲 15番 不思議に思ったことを調べてみようとする探求心」については、低学年の結果と同様、日々の授業の中で、教師が子どもたち一人ひとりの理解度や興味の高まりを把握し、個々に応じた適切な指示や声かけやもっと知りたい、考えたくなるような問題提起やしかけ、授業展開の工夫が必要であると考えます。まずは自分の考え、あれやこれやと自分一人で試行錯誤する時間の確保と友だちの考えを聞きたくなる教室環境づくりを学校全体で研究していきたいと思います。

「18番 クラスでいじわるをする人がいたら注意する 19番 クラスはいじめを許さない雰囲気だ」については、「あまりそう思わない」「そう思わない」の回答が20%以下ではありますが、クラスでいじめがあったとき、対応に困っている児童がいることが分かりました。教室が子どもたちにとって安心な場所であるかが重要です。間違った行為があった時、適切にNOと言えるか、勇気を出して、正す方向へ仲間と力を合わせるができるかが重要です。日々の学級活動の中で、だれもが居心地の良い学級集団を作っていけるよう、担任だけでなく学校全体で集団を支えていきたいと思います。

「30番 外国の人との交流」について質問しました。肯定的回答が63%と低い数値であったことから、国際理解教育や多文化共生など多様な価値観や考え方を理解し、ともに生きることためにできることは何かを考え、行動できる人として育つよう、今後も学校全体で取り組みを進めていきたいと思います。

「33番 体を動かすこと 34番 あいさつ」については、児童会や体育委員会などが明るく元気な学

校にするため、「〇〇週間」や遊び、あいさつなどの取り組みを企画していけるよう、特別活動にも力を入れていきたいと思えます。

多くの子どもたちが「28番 人の役に立ちたい」と感じ、何ができるのだろうかと考えてくれていることが分かりました。まずは、身近にある小さな社会（家庭や学級、学校、地域）の範囲の中で係活動、委員会活動、クラブ活動などを通して、公共の福祉のために働く意味を見つけて、主体的に行動してくれたらと思えます。

「31番 相談できる先生や友だちがいる 93%」であったことから、信頼できる人が身近にいることが分かり、安心しています。何か困った時はまず相談をしてほしいと思えます。

上記の質問項目以外に、お子様の学校での様子や何か不安な事、気になることがありましたら、担任までお知らせください。また、本校には月2回、スクールカウンセラーが9時半から16時半まで一日来校しています。お子様の事、子育てについて悩んでいること、不安に思っていることがありましたら、日程調整を行いますので学校までご連絡ください。

今後とも本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。